

26. 令和6年度山口県てんかん地域診療連携体制整備事業活動報告

山口県立総合医療センター
てんかんセンター長 藤井 正美

1. 概要

山口県立総合医療センターは、総病床数は504床であり、一般病床490床と感染症病床14床（感染症センター）から成る。

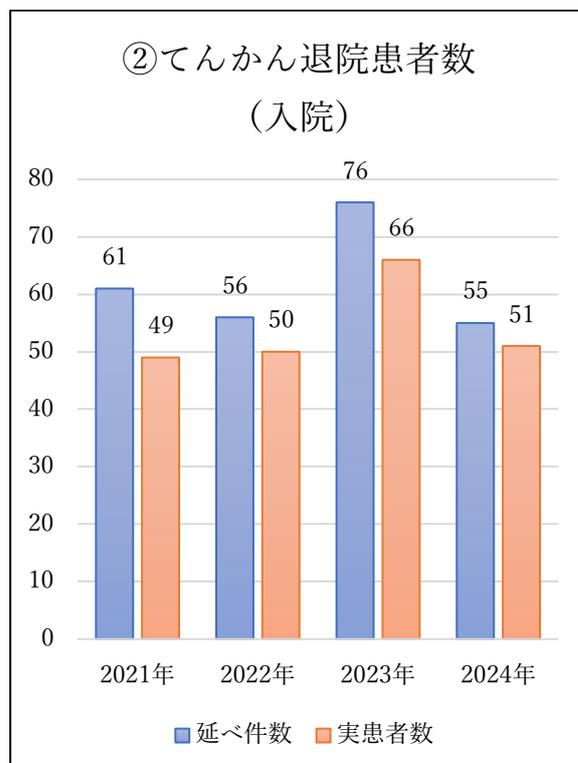
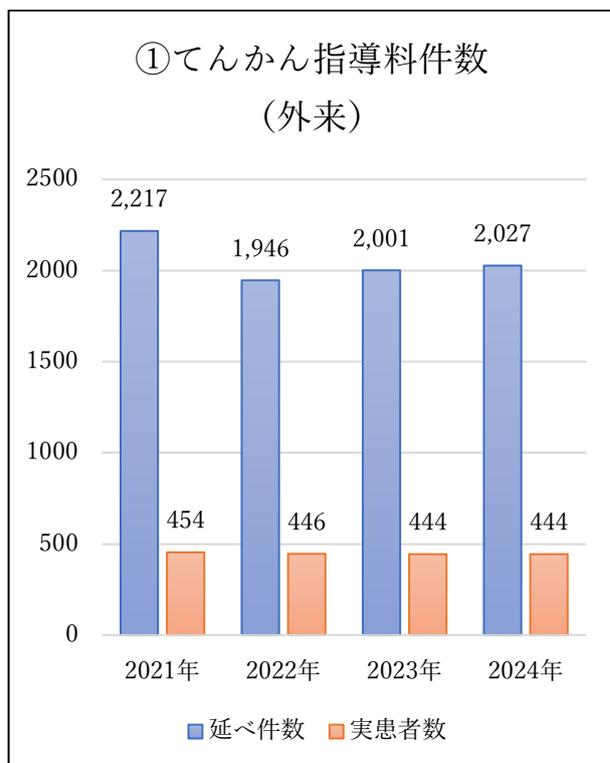
(1) 当院のてんかん診療

当院のみでは全てのてんかん患者さんに対応することはできないため、病院内関連科、大学病院及び県内のてんかん診療を行なっている医療機関との連携体制を強化し、てんかんの地域医療及び先進的研究の発展に寄与する。

- ・長期継続ビデオ脳波同時記録（病室2室）
- ・高密度脳波検査（256ch脳波）
- ・ICU持続脳波モニタリング検査、およびNICU amplitude integrated EEG（新生児科）
- ・半導体PET/CT（難治性部分てんかんで外科切除が必要とされる症例に使用）
- ・妊娠可能な女性へのてんかん患者カウンセリング（総合周産期母子医療センター）
- ・外科治療（側頭葉切除術、焦点皮質切除術、脳梁離断術、SEEG、硬膜下電極、VNS、DBS等）

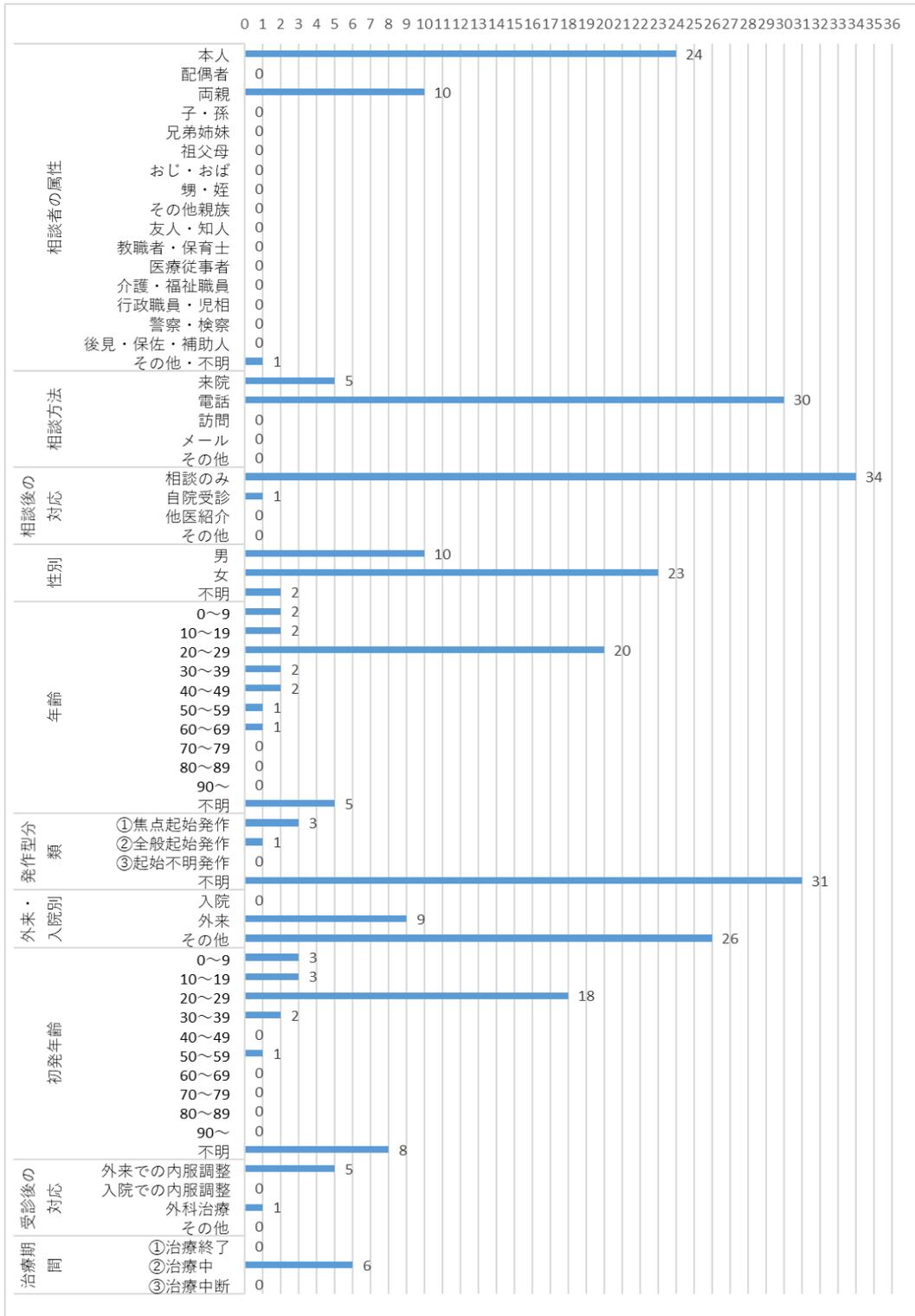
(2) 実績報告

- ・集計データは令和6年4月1日～令和7年1月31日分である。
- ・1月末時点での実患者数推移について、外来は横ばい、入院はやや減少している。



(3) てんかん相談について

- ・集計データは令和6年4月1日～令和7年1月31日分である。
- ・相談件数は35件だが、うち17件は同一の患者であるため、数値に偏りがある。



(4) てんかん症例検討会について

・第5回より院外へ開催案内を配布、ただし配布方法、配布地域は継続検討中。

※第5回は山口県臨床検査技師会山口支部（山口・防府）のみ配布（院外参加者なし）

日時	内容	参加者
令和6年 5月13日	第1回てんかん症例検討会 ・症例1 PNES ・症例2 全般てんかん	脳神経外科・脳神経内科 6名 臨床検査技師：7名 MSW：1名
令和6年	第2回てんかん症例検討会	脳神経外科・脳神経内科 4名

7月8日	・症例1 全般てんかん ・症例2 焦点てんかん	臨床検査技師：5名
令和6年 9月2日	第3回てんかん症例検討会 ・てんかんに関する情報提供 ・症例1 焦点てんかん（右側頭葉てんかん） ・症例2 焦点てんかん（左側頭葉てんかん）	脳神経外科・脳神経内科6名 臨床検査技師：7名
令和6年 11月11日	第4回てんかん症例検討会 ・症例1 PNES ・症例2 PNES/てんかん合併	脳神経外科・脳神経内科5名 臨床検査技師：6名
令和7年 1月20日	第5回てんかん症例検討会 ・症例1 焦点てんかん（左側頭葉てんかん） ・症例2 焦点てんかん（左前頭葉てんかん）	脳神経外科・脳神経内科4名 臨床検査技師：7名
令和7年 3月3日	第6回てんかん症例検討会 ・2症例提示予定	

2. 活動状況

(1) 県民公開講座、てんかん診療医療従事者セミナーを開催

令和6年9月28日(土)、東北大学大学院医学系研究科、てんかん学分野教授の中里信和先生をお迎えし、てんかんをテーマとする『県民公開講座』及び『医療従事者セミナー』を開催した。

ハイブリッド開催 集合型・事前申込必要/定員30名

山口県立総合医療センター 県民公開講座



9.28 会場 山口県立総合医療センター
開催時間 14:00-15:15 受講料無料
●開場 13:30

基調講演 14:00-14:15
【座長】山口県立総合医療センター 福迫 俊弘
てんかん支援拠点病院における診療の現状
山口県立総合医療センター
てんかんセンター長(脳神経外科) 長網 敏和

特別講演 14:15-15:15
【座長】山口県立総合医療センター
てんかんセンター長(脳神経外科) 藤井 正美
知って安心、てんかんと就労
東北大学大学院医学系研究科
てんかん学分野 教授 中里 信和

受講方法は従来の「集合型」と「YouTubeライブ配信」の2種類です。申込み方法など詳しくは裏面をご覧ください。

集合型 定員30名(先着順) ※事前申込必要 **YouTubeライブ配信** 定員なし ※事前申込不要

地方独立行政法人 山口県立病院機構 事務局 〒747-8511 山口県防府市大字大崎10077番地
山口県立総合医療センター 総務課 ☎0835-22-4411 <https://www.ymghp.jp>

後援/山口県、防府市、山口県医師会、山口県薬剤師会、防府医師会、防府薬剤師会

てんかん診療医療従事者セミナー

2024年9月28日(土)

プログラム

16:00~17:00
「てんかん症例傑作選～入院しなきゃわからない～」
東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野教授
中里 信和 先生

17:00~17:15
「てんかんセンターにおける検査部の取り組み」
山口県立総合医療センター中央検査部
佐々木 宏典 技師

てんかん診療に興味がある医療従事者の方はどなたでも参加できます

【開催場所】〒747-8511 山口県防府市大字大崎10077番地
山口県立総合医療センター2階大会議室・オンライン (ZOOM)

参加費 無料
【申込方法】Eメールに以下の項目をご記入の上、お申込みをお願いします。
①医療機関名・部署名 ②氏名 ③職種
④参加方法の別 (現地参加・オンライン参加)

【申込先】地域医療連携室：石崎 ishizaki.takahiro@ymghp.jp

てんかん支援拠点病院：山口県立総合医療センター

YouTube



山口県立総合医療センター県民公開講座
9月28日(土)14:00～配信



正しい理解が社会を動かす。

1:27:41

知って安心、てんかんと就労

313 回視聴・9 日前に配信済み

山口県立総合医療センター

2024年9月28日(土) 14:00～15:15に以下の内容でライブ配信を行います。

2 個のパート 【基調講演】 | 【特別講演】

県民公開講座は現地参加を30名の定員制としており、当日は11名が参加された。YouTube ライブ配信での参加は85名であった。その後、アーカイブでの視聴は450回となっている。

医療従事者セミナーは郡市医師会経由で県内全域の医療機関に広報を行った。参加者は42名（昨年度27名）で、うち37名（同17名）がZOOMでの参加であった。職種別では医師：10名、看護師：5名、薬剤師：9名、臨床検査技師：13名、作業療法士：3名、事務職員：2名であった。

(2) 山口県内における広報・連絡体制の強化

昨年度は山口・防府・吉南の3医師会経由で広報を行ったが、本年度は山口県医師会及び19の郡市医師会を通じて、県内全域の医療機関にEメールで広報する体制を整えた。

医療従事者セミナーの広報については、前述の医師会経由での広報に加え、次の職能団体へも広報を行っている。

（山口県薬剤師会、山口県看護協会、山口県理学療法士会、山口県作業療法士会、山口県言語聴覚士会、山口県精神保健福祉士協会、山口県医療ソーシャルワーカー協会）

(3) てんかん診療に関する医療機関対象のアンケート

本県における、てんかん診療体制の地域偏在対策や、小児期から成人期への移行医療（トランジション）の問題等の把握のため、てんかん診療が可能な医療機関等のアンケート調査を実施した。県内19医師会のメンバーリストを作成のうえ、所属する1,120の医療機関に依頼し、49医療機関から回答があった。

診療可能な医療機関の情報は一覧表に集約し、当院ホームページ上で公開を行う。

(4) 移行期医療に係る実態調査

山口県てんかん治療医療連携協議会の委員に対し、アンケートを実施した。13名の委員から回答があり、小児科医師からは“移行期医療がうまくいってない”、“紹介先が分からない”、成人科（小児科以外）医師からは“移行期医療がうまくいっている”、“小児科から依頼があればお受けしている”と現状に差異があることが判明した。

(5) 全国てんかん対策連絡協議会

7月21日開催の『2024年度第1回全国てんかん対策連絡協議会』に、当院てんかんセンター長が出席し、実績報告を行った。

(6) 当院における医療従事者の研修援助

てんかんに携わる当院職員の質向上のため、下記研修等に参加した。また、専門的、かつ先進的な取り組みを行っている医療機関見学のため職員を派遣した。

日程	参加者	研修内容
令和6年7月21日	看護師1名 社会福祉士3名 精神保健福祉士1名	てんかん診療支援コーディネーター研修
令和6年7月4日～5日	看護師2名	静岡てんかん・神経医療センターを見学
令和6年9月12日～14日	臨床検査技師3名	日本てんかん学会学術集会
令和6年10月24日～26日	医師1名 臨床検査技師1名	日本臨床神経生理学会学術大会
令和6年12月6日～10日	医師2名	全米てんかん学会
令和6年12月22日	看護師1名 社会福祉士3名 精神保健福祉士1名	てんかん診療支援コーディネーター研修
令和7年2月6日～7日	医師2名	日本てんかん外科学会
令和7年3月22日～23日	医師2名 看護師2名 臨床検査技師2名 社会福祉士2名	全国てんかんセンター協議会総会